

ニセコエリア通年型リゾート地強化事業  
～グローバルとローカルが共存するリゾート地を目指して～

ストーリーA日本人

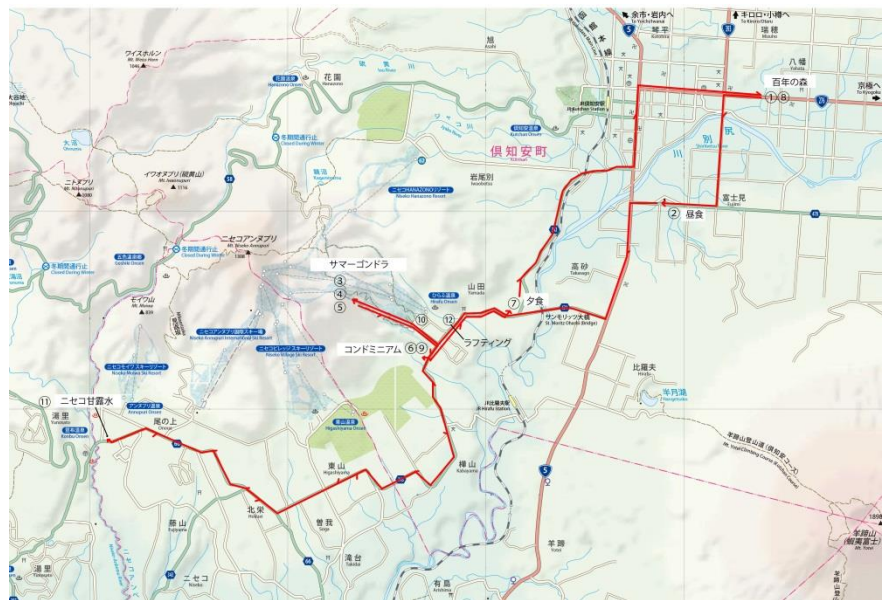
「家族でニセコの大自然と異文化を体験する1泊2日の旅」

子供たちは夏休み。「お父さんお母さんどこかに連れて行ってよー！」毎年このセリフに頭を悩まされる。夫婦共働きで夫は土日しか休みがない。土日に合わせて近場でリラックスできる場所はないだろうか…。夫婦で日頃の疲れを癒しつつ、子供たちには貴重な経験と良い思い出作りをさせてあげたい。そうだ、この前SNSで誰かがニセコエリアに日本初の新しいアクティビティが出来たってアップしていた。おまけに外国人もたくさんいる地域らしい。自然も豊かだし美味しいものもありそう、温泉もいいなあ、よしみんなでニセコに行こう！金曜の夜には準備万端、土曜の朝にマイカーで出発。

【ニセコエリア近郊マップ】



【ニセコエリアマップ】



起：ガイド付きトレッキングでニセコの大自然を体験、  
日本一の倶知安じゃがを堪能。

①自然散策

今回は自然公園「百年の森」を散策。ヒナコウモリの観察小屋や様々な季節の植物を見ることができる。森の番人さんに案内してもらおう。ニセコエリアの自然の成り立ちを聞き、子供も夢中に。「あ！カエルだ！」「こっちはトトロがいそうだよ！」子供たちの楽しそうな様子に家族全員笑顔があふれる。ここは夜にはホタルが見えるらしい。せっかくだし、夜に戻ってこよう。

↓車 5分

②昼食：洋食レストラン

このエリアの特産品のじゃがいも料理を堪能。地元野菜のカレー＆コロッケでランチを楽しむ。「こんなにホクホクした美味しいコロッケは初めて！」羊蹄山の麓にご自身で建てたというこのレストラン、お店が混んでいない時にはぜひオーナーのお話を聞きたい。

↓車 15分



承：「動」ハイキング、フロートレイル、  
「静」押し花ボタニックアートのワクワク体験。

**③サマーゴンドラ**

ホテルニセコアルペンに車を駐車して、マウンテンバイクをレンタル、ゴンドラへ積み込む。父と息子はフロートレイルを、母と娘はボタニックアート体験をしにゴンドラでアンヌプリ中腹へ向かう。標高 820M へゆっくりと上に向かっていくゴンドラ内で興奮する子供たち。「お父さん、上についたらマウンテンバイクで下まで走るんだね!」「お母さん、押し花って初めてだね♪」思い思いに期待に胸を膨らませる。ゴンドラ終点地からは、羊蹄山はもちろん余市峠や中山峠、有珠山が見渡せる大パノラマが。「いつか富士山に登る前に、あの羊蹄山を制覇しようね!」記念に写真撮影も。アンヌプリ中腹からは、アンヌプリ登頂や鏡沼方面へのトレッキングも可能。

**④-1 フロートレイル体験**

父と息子は日本初上陸のマウンテンバイクアクティビティを体験。インストラクターにフロートレイルについてレクチャーしてもらい、いざ実践。速さではなく重力を楽しむフロートレイルは欧米では子供から大人まで親しまれている。「こんな絶景を眺めながら走ることができるなんて、気持ちがいい〜!!」

**④-2 ボタニックアート体験（押し花）**

母と娘は自然情報室エコルで、ネイチャーガイドに植物のお話をきく。押し花インストラクターも合流し、外で花摘み。中に戻って摘んだ花などを使ってお土産作り。花の美しさをそのままに表現できるボタニックアート、夢中になっていたらあつという間に時間がすぎちゃった。

**⑤合流**

それぞれ楽しんだ後、母と娘はゴンドラに乗って下までおり家族全員合流。そこから車でホテルへ向かう。車内では子供たちの楽しかった思い出話が。もうたくさんの思い出が出来たみたい。

↓ゴンドラ+車 10分

転：絶好のロケーションの海外型コンドミニウムに大興奮。

地元食材を使った夕食や、満点の星空・ホテル観賞、温泉でリラックス。

**⑥コンドミニウムへチェックイン**

雄大な自然に囲まれ、最高のロケーションに位置するコンドミニウムへ。初めてのコンドミニウムに「こんなに素敵な宿に泊まれるの?海外旅行に来たみたい!」と妻もニコニコ幸せそう。子供たちも大喜び。ウェルカムドリンクを飲んで、お部屋で休憩。

↓車 5分

**⑦夕食：イタリアンレストラン**

人気のアットホームなイタリアンレストランへ。地元の素材を生かして作る料理は、本場イタリアで修業を積んだシェフのアイディアがいっぱい。子供たちは料理そっちのけでショーケースにならぶ色鮮やかなケーキたちに目を輝かせている。「帰りに買ってお部屋に戻ってから食べようか!」「うん♪」食後の楽しみが出来た。

↓車 30分

**⑧星空&ホテル観賞**

ちょうど晴れているので、午前中に教えてもらった百年の森へ蛍を見にいく。目の前には蛍の光、空には満点の星空が。「来てよかったね!」みんな心の中で同じことを思っていたに違いない。こんな素晴らしい体験を子供たちにさせてあげられて、本当によかった。





↓車 30分

### ⑨温泉&リラックスタイム

旅の疲れを癒しに温泉へ。その後は広い部屋でさっき買ったケーキを食べながら今日の思い出の写真を見せあい家族でリラックス。「ここが家だったらいいのにな〜」なんて、楽しい話も尽きない。また絶対に来ようね。よっぽど楽しかったのだろう、部屋に戻ると子供たちは早く寝てしまった。久しぶりに二人で飲もうか。ニセコのお酒で乾杯。至福の時、そのままぐっすり休む。



結：雲海から頭を出す羊蹄山を眼下に眺め、伏流水を味わう。  
外国人ガイドとのラフティング体験で締め括る。

↓車 15分

### ⑩雲海

早起きして雲海がキレイにみえるところまでお散歩。昨晚、テルテル坊主を作って願ったかいあり、見事晴天。昨日のガイドさんが教えてくれた雲海情報。あまりの美しさに言葉にならない。「お父さん、山が下に見えるね!」「雲の上の世界にききたい!」雄大な羊蹄山の神秘の力を感じられた。行く先々での出会いに感謝。子供たちには一生忘れられない思い出となるだろう。



↓車 10分

### ⑪羊蹄山の伏流水

まるでやかで美味しいと有名なアンヌプリの自然湧水「ニセコ甘露水」を飲みに行く。雪解け水が長い年月をかけてアンヌプリからしみ出てきたこの水、無料で汲むことができ、1日の湧出量は1440トン。かつて昭和天皇がこの水を「甘露である」と喜ばれたことから「甘露水」という名前になったと言われる。「さっきのアンヌプリに降った雨や雪が、長い年月をかけてこのお水になったのだよ。」そう考えると自然の力って素晴らしい。子供たちも目を輝かせて聞いていた。「この辺りではお店の人が調理に使ったりするんだよ。持って帰ってこの水でご飯を炊いてごらん、お米の美味しさにびっくりするよ。」水汲みにきていたおじさんに良い情報をもらう。お土産に持って帰ろう。



↓徒歩 10分

### ⑫ラフティング+英会話

清流日本一に輝いた尻別川でラフティング体験。外国人ガイドを指名。バスでスタート地点まで送ってくれる。車内では英語で自己紹介!なぜだろう、外国人ガイドが相手だと気持ちも高鳴り、すんなり英語も出てくる。この調子でラフティングも英会話を交えながら楽しもう。ニセコエリアの自然の話を英語できくと、昨日聞いた話とリンクしていて英語でもよく理解できた。ゆっくり自然を感じながら下り、激流ポイントでは家族みんなでエキサイティング!



「Thank you! See you.」最後にはすっかり英語モードに。



ちょっとした日常の延長、ちょっとしたバカンス、気ままなくつろぎ旅の終わり。車内で子供たちはぐっすり眠っている。1泊2日でこんなに充実したのはニセコのおかげ。札幌から車で1時間半、気軽に楽しめる異文化エリア、ニセコにまた来よう。子供たちはもっと英語を勉強してまたガイドさんとお話するって意気込んでいた。自分たちもゆっくりできたし、何より子供たちの幸せそうな顔を見ていたら疲れが吹き飛んだ。ありがとうニセコ。また明日から仕事がんばれそう。